

憲法70年、未来にのびる

70年前、希望は憲法だった

1947年5月3日 敗戦の混乱と平和への希望が交錯する中で日本国憲法は施行されました。

戦争は人間をほろぼすことこそ、世の中のよいものをこぼすことです。だから、この日の戦争をしかけた国には大きな責任があるといわなければなりません。(1947年文部省発行 中学1年生用社会科教科書あらたし憲法のはなしより)

満州事変以来7年にも及ぶ長い戦争の時代が終わった解放感、死の恐怖が去った安堵感は、戦争放棄、戦力の不保持を定めた第9条の精神と重なりました。この平和主義をはじめ、国民民主、基本的人権の尊重を明文化したあたらしい憲法は人々の誇りとなりました。(『まは決して単なる成敗の標本ではなく、普遍的な世界政治理念の先駆者でもある』1947年5月3日購買新聞社版より)

人間がこの世に生きてゆくからは、じぶんのすきな所に住み、(虚)じぶんの思うことをい、じぶんのすきな教えにしたがってゆけることなどが必要です。(『憲法あらたし憲法のはなし』より)

戦争中は、国民の自由な意見や思いを公にすることは制限されています。戦争に反対したり、国に不都合な思想や信仰を持つたりするだけで、治安維持の名目により犯罪とされることさえあるのです。国ありかたは主権者である国民自身が決める。人は生まれながらに等しく権利を持つ。そして戦争によって殺し殺されない。これを国の基本姿勢として憲法で定め、70年前の今日、歩みはじめたのです。

だまるな、だまされるな、棄憲は危険!

様々な懸念の中で施行され、その後急激に膨らんだ憲法への押しつけ、非正規雇用の増大と格差の拡大、親がら子への貧困の連鎖、高齢者の頼みの綱である年金のカット、国民の大多数が反対している原発の再稼働(自民党の17年4月世論調査で賛成率26%)など、現状は日本国憲法が定める政治とはかけ離れています。そのうえ政府は、個人の意思までも処罰の対象とする恐れのある「共謀罪」(組織犯罪処罰法改正案)の制定や、内閣の独裁につながりかねない緊急事態条項を憲法で定めることまで主張しています。国会で自民公明の与党議員が圧倒的多数を占めるなか、強行採決の施行、政府の国会監視など、民主主義の危機的状況が続いています。安倍首相は自身が意欲を示している憲法改正を実現するため、衆議院解散の時期をうかがっています。しかし本来、選挙は私たちが主権を行使する手段です。憲法に書かれた日本を実現する政見、政治家を選ぶ大切な機会なのです。

憲法に書かれた日本を実現しよう!

もうだまされてはられない。そう考えた私たちは憲法施行70周年を記念する今日、みなさんにいま憲法が危ないことを訴えるためにこの意見広告を掲載しました。

われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専らして他国を無視してはならないのであって、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。(日本国憲法前文より)

こう高らかに宣言した日本国憲法こそ、さまざまな思想、信念、文化をもつ世界の人々とともに未来を生きる、そのために活かすべき平和理念です。

意見広告

この市民意見広告運動は、いかなる政党・政治団体に属さない市民運動です。毎年、憲法記念日のき、全国の人びとが賛同金を掲出しあい、意見広告を掲載しています。今回の意見広告の賛同者数は11,209人(2017年4月8日現在)です。

憲法施行70周年を記念して、憲法が危ないことを訴える意見広告を掲載しました。憲法は、戦後70年を経ても、依然として日本人の心をつかみ、未来を生きるための指針となっています。しかし、近年、憲法に対するさまざまな懸念が浮き彫りになり、憲法が危ないと感じる声も増えています。この意見広告は、憲法が危ないことを訴えるとともに、憲法を守るための行動を呼びかけます。

憲法は、戦後70年を経ても、依然として日本人の心をつかみ、未来を生きるための指針となっています。しかし、近年、憲法に対するさまざまな懸念が浮き彫りになり、憲法が危ないと感じる声も増えています。この意見広告は、憲法が危ないことを訴えるとともに、憲法を守るための行動を呼びかけます。

憲法は、戦後70年を経ても、依然として日本人の心をつかみ、未来を生きるための指針となっています。しかし、近年、憲法に対するさまざまな懸念が浮き彫りになり、憲法が危ないと感じる声も増えています。この意見広告は、憲法が危ないことを訴えるとともに、憲法を守るための行動を呼びかけます。

憲法は、戦後70年を経ても、依然として日本人の心をつかみ、未来を生きるための指針となっています。しかし、近年、憲法に対するさまざまな懸念が浮き彫りになり、憲法が危ないと感じる声も増えています。この意見広告は、憲法が危ないことを訴えるとともに、憲法を守るための行動を呼びかけます。

憲法は、戦後70年を経ても、依然として日本人の心をつかみ、未来を生きるための指針となっています。しかし、近年、憲法に対するさまざまな懸念が浮き彫りになり、憲法が危ないと感じる声も増えています。この意見広告は、憲法が危ないことを訴えるとともに、憲法を守るための行動を呼びかけます。

憲法は、戦後70年を経ても、依然として日本人の心をつかみ、未来を生きるための指針となっています。しかし、近年、憲法に対するさまざまな懸念が浮き彫りになり、憲法が危ないと感じる声も増えています。この意見広告は、憲法が危ないことを訴えるとともに、憲法を守るための行動を呼びかけます。

憲法は、戦後70年を経ても、依然として日本人の心をつかみ、未来を生きるための指針となっています。しかし、近年、憲法に対するさまざまな懸念が浮き彫りになり、憲法が危ないと感じる声も増えています。この意見広告は、憲法が危ないことを訴えるとともに、憲法を守るための行動を呼びかけます。

憲法は、戦後70年を経ても、依然として日本人の心をつかみ、未来を生きるための指針となっています。しかし、近年、憲法に対するさまざまな懸念が浮き彫りになり、憲法が危ないと感じる声も増えています。この意見広告は、憲法が危ないことを訴えるとともに、憲法を守るための行動を呼びかけます。

憲法は、戦後70年を経ても、依然として日本人の心をつかみ、未来を生きるための指針となっています。しかし、近年、憲法に対するさまざまな懸念が浮き彫りになり、憲法が危ないと感じる声も増えています。この意見広告は、憲法が危ないことを訴えるとともに、憲法を守るための行動を呼びかけます。

武力で
平和は
つくれない。
いままでも

